

■ 海岸公園の苗木の手当て（フォロー作業）を行いました！



本年3月に行った「市民植樹」の苗木の手当て（フォロー作業）を行いました。

7月29日。炎天下の中、海岸公園（蒲生地区）に連絡会議メンバー有志が集まり、除草やマルチング（※）の打ち直し、根元土の掘り起こしなどの作業を行いました。

今回はどんぐりの森づくりプロジェクトの植樹箇所と百年の杜づくりフォーラムに参加された方々の植樹箇所を重点的に作業をしました。炎天下の作業でしたが、海風に救われます。

特に除草には労力を要しました。

肥料をまいてある部分の雑草の成長が著しく、苗を覆うようにびっしりと育っていましたが、それらを取り除くと、コナラ、ツバキ、シラカシやトチノキ、クルミなど、植樹苗がたくさん姿をみせてくれました。

今後は、植樹活動と並行して、「育樹」の場づくりも設けていきたいと考えております。

※マルチング：植えた植物の根元（地表面）を“こも”などで覆うことで、雑草の発生を防ぐほか、水分の蒸発や病害虫の発生を防ぐこと。

■ 平成28年度 第一回連絡会を開催しました！



6月9日、3.11メモリアル交流館のスタジオにて、本年度第一回の連絡会議を開催し、3月に実施した市民植樹のふりかえりや、今後の海岸公園や海岸林などの植樹活動や計画についての意見交換を行いました。

植樹部分の手当て（フォロー作業）も必要になっていることや、それらは市民植樹に参加いただいた方々にも参加していただけるような機会をつくっていく必要もあることなどが優先事項として話し合われました。

本会開催時点で雑草の成長が著しく、早急に除去の必要があるために連絡会メンバーで7月中に対応することとしました。（前項参照）また、成長の様子などを見学できる機会なども設けていく必要も確認されました。

■事務局

●特定非営利活動法人都市デザインワークス
TEL:022-264-2405 mail:info@udworks.net

●仙台市百年の杜推進課
TEL:022-214-8389
mail:ken010241@city.sendai.jp

七郷小学校の

「ふるさと再生」の取り組みが はじまりました！



8月29日(月)、冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワークの提案により、七郷小学校 防災安全科「ふるさと再生」の授業が海岸公園冒険広場と貞山堀周辺で行われ、4年生160名が参加しました。5～6名のグループに分かれ、一本の実生苗を採取しました。

学校敷地で2年間育てた後に、採取した場所に戻すプロジェクトです。自分たちが卒業する頃、育った苗を再び沿岸部に植え「ふるさと再生」の一端を担う取り組みとして、子どもたちは一生懸命育ててくれることと思います。「植物(みどり)を育てる」ということを、苗木と一緒に成長しながら学んでもらいたいと思います。

【問合】冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク 担当：高橋
TEL：022-264-0667 mail：jimukyoku@bouken-asobiba-net.com

今年も向山小学校の

どんぐりの森づくりプロジェクトが行われ ました！

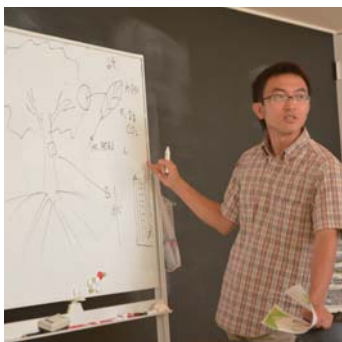


10月19日(水)秋晴れの中、向山小学校の「どんぐりの森づくりプロジェクト」のどんぐり拾いと植え付け作業が行われました。今回で4回目を迎えるこのプロジェクトは、野草園(仙台市公園緑地協会)が向山小学校と連携して企画したり指導役となったりしながら進めています。

学校の隣の向山中央公園の山にあるどんぐりの実を採取し、二年間育てた後に沿岸部(東部地域)に植林していくプロジェクトです。一連の作業は児童が担当し、今年の3月には学校の児童有志が市民植樹に参加し、これまで育てたコナラなどを植えました。未来を担う子どもたちには、どんぐりの木と共に健やかに育てて欲しいものですね。

【問合】仙台市公園緑地協会 担当：近藤
TEL：022-293-3583 mail：sinya_kondou@sendai-green-association.jp

イグネスクール、開講！！



都市デザインワークスが進める、仙台平野「みんなの居久根」プロジェクトの一環の居久根づくりを学ぶための企画「イグネスクール」がこの9月からはじまりました。

樹木・植物の基本的な生態から、植え育てるコツまで3回に渡りプログラム(授業)を仙台沿岸部の南蒲生・新浜地区を中心に実施します。これまで2回の開催で、延べ25名の方にお集りいただきました。次回は11月6日に南蒲生・新浜の両地区にて植樹&育樹会を開催します。お気軽にご参加ください。詳しい情報はWEBサイトやFacebookページでもお知らせしています。

【問合】都市デザインワークス 担当：岡井
TEL：022-264-2405 mail：okai@udworks.net

新浜の自然と歴史の学習会が開催 されました



8月21日(日)、仙台沿岸部の新浜地区で、「新浜の自然と歴史の学習会」が開催され、町内会や市民団体など55名の参加がありました。午前10時から荒浜を經由して新浜に向かい、台風が通り過ぎ真夏の日差しが降り注ぐ中、海岸の自然や海岸林の復旧状況を観察しました。集会所で昼食の後、学習会を行い新浜町内会が作成した「ニュービーチプラン」の紹介の後、「海岸林の整備計画と植樹について」森林管理署、仙台市の説明がありました。東北学院大学の平吹教授の海辺や海岸林についての講演を行い、それらを踏まえて海岸林再生と市民の役割について話し合いをして終了しました。

【問合】新浜町内会 担当：遠藤
mail：endoh_g@lemon.plala.or.jp

平成28年度 第二回連絡会を開催しました！



の活動からも読み取れます。新たな居久根のイメージと、それに基づいた活動の必要性が確認されました。例えば経済林としての新たな役割を与えてみる事なども必要ではとの意見も出されました。今後も検討と活動を続けて参ります。

(写真は全員出席のもと、真剣に、かつ和やかに議論が進んだ今回の連絡会の様子です。)

8月29日、本年度第二回目となる連絡会議を開催しました。台風の迫るなか、連絡会メンバー全員出席の上、オブザーバーの方々も加わってテーブルはひしめくようでした。

3月に実施した市民植樹の苗のフォロー作業を主とした「育樹会」を11月に開催することや、今後の植樹箇所についての情報共有、その為に必要な事項の洗い出しと確認に加えて、居久根の再生についても議論になりました。

居久根は、往時の緑深いものから現在の暮らしに沿った形での再生も必要になっていきている、ということがこれまで

トピックス 兵庫県視察報告 その①：尼崎 21 世紀の森



9月7日から8日にかけて、本プロジェクトの更なる充実のために、事務局メンバーで兵庫県の各所に先進地事例視察に行ってきました。本号から数回に分けてそのご報告をいたします。まずは尼崎市の「尼崎 21 世紀の森」についてです。

●阪神工業地帯の臨海地域を「森」に！

工業地帯となり失った環境を、「水と緑豊かな自然環境」として再生させるためのプロジェクト。工業地帯の1,000haが対象だが、現在は平成15年から工場の跡地(18.9ha)で森づくりを進めている。

●多様な主体が関わった森づくり！

森づくりを「エリア設定型」で行っており、ここに地元金融機関や建設業者、市民グループ、高校等の教育機関など9企業3校が参加し、それぞれのエリアの手入れなどを一括して行っている。また、苗木の里親制度を採用しており、参加の間口を広げている。

さらに、環境教育の一環として市内・県内の小学校を主とした授業を受け入れている。昨年度は47校3,736名を受け入れたそうだ。

●「生物多様性」が意識された「長期的な運営計画」など、森づくりのためのプランが充実！

検討委員会による計画づくりや定期的な協議会開催により森づくりの合意形成をはかっている。計画段階で原植生を想定し、生物多様性に配慮した郷土樹種の検討も行われた。敷地内には植樹苗を育てる圃場があり、樹木の苗木だけでなく草本類の苗まで約360種類を育てている。また、苗づくりや植樹作業のための設備・備品も揃っている。(右写真2枚)



■ふるさとの杜再生プロジェクト事務局

●特定非営利活動法人都市デザインワークス
TEL:022-264-2405
mail:info@udworks.net

●仙台市百年の杜推進課
TEL:022-214-8389
mail:ken010241@city.sendai.jp



海岸公園の育樹会を開催しました！



11月20日(日)、海岸公園の育樹会を行いました。
今年3月の市民植樹に参加いただいた方々や協賛いただいた企業の皆様、連絡会メンバーなど41名の参加のもと、晴天ながら少し寒い中でしたが、予定した全行程を行いました。手入れ作業は、防風ネットの張り付け作業と、マルチング(※)を行いました。

ドングリやクヌギ、ヤブツバキなどの苗木は、すくすく育っており、今回の作業の最後の苗木数計測では350本ありました。冬～春先の過酷な環境を乗り越えて、元気に育つて欲しいものです。

震災から間もなく6年。海岸公園の野球場は一部再開しており、当日は少年野球の練習試合も行われていました。そうした中での育樹作業は、一層意味を感じる事ができました。

また、作業後には海岸公園に整備された「避難の丘」まで歩いて見学に向いました。津波発生時、ここには1,100人が避難できます。公園が全面供用開始されれば、平時には海も街も見渡せる展望地点になることも想像できます。

市民植樹など「植える」機会と並行して、今後もこうした「育てる」機会、見学の機会も設けていきたいと思ひます。

※マルチング：植えた植物の根元(地表面)を“こも”やチップ、肥料などで覆うことで、雑草の発生を防ぐほか、水分の蒸発や病害虫の発生を防ぐこと。

イグネスクールの実践！植樹会！



11月6日(日)、沿岸部の新浜地区と南蒲生地区でイグネスクールの第三回目が行われました。

(イグネスクールについては前号表面参照ください。)

新浜では2つの敷地、南蒲生では1つの敷地に植樹を行いました。旧街道沿いを主眼に、いずれも風除けや地境、目隠しになるように配植しました。植樹の現場でも、植えて育て方のコツのアドバイスがありましたが、新浜地区では植樹作業後に約50名の方々が集まり過去2回の授業のダイジェスト版の授業を行いました。小さな学校ながら、学びながら実践する場の集大成となりました。

【問合】都市デザインワークス 担当：岡井
TEL：022-264-2405 mail：okai@udworks.net

大内さんちの居久根プロジェクト



11月23日(水)、若林区の二木にて冒険あそび場—せんだい・みやぎネットワークの主催による「ふるさと再生～居久根プロジェクト」が行われました。初参加の市民をはじめ留学生・研修生など27名が集まり造園家の指導を受けながら移植作業を一気に行いました。居久根・移植グループは3年間育てた樹苗や被災跡地の実生を含めた40株を移植し、並行して10月に新しい場所に移動した花畑にクロッカスの球根300個を植え付けました。2014年10月に環境教育を学ぶ大学生や若者たちと一緒にスタートしたプロジェクトですが市民活動へと広がってきています。

【問合】冒険あそび場—せんだい・みやぎネットワーク 担当：高橋
TEL：022-264-0667 mail：jimukyoku@bouken-asobiba-net.com



平成28年度 第三回連絡会、開催！

10月20日（木）、本年度第三回の連絡会を開催しました。当日は、育樹会（本号表面参照）のプログラムや段取り、準備について、今後の海岸公園等での市民植樹や海岸林等の植樹のための体制づくりなどについて協議したほか、事務局で視察をした尼崎21世紀の森の報告も行いました。（前号参照）失った環境を再生していくという事において、先進事例として大変参考になったと同時に刺激を受けました。今後の取り組みに活かして行きたいと思えます。



トピックス 兵庫県視察報告 その②：有馬富士公園（兵庫県三田市）



前号からお伝えしている本プロジェクトの先進地事例視察の報告シリーズの第二回目。今回は三田市の「有馬富士公園」について報告いたします。

●公園の概要

兵庫県三田市にある県立の広域都市公園。神戸から約25km、大阪から約35kmに位置している。416.3haという広大な面積をゾーン毎に徐々に整備、現在は第一期開園区域178.2haがオープンしている。利用状況は、平成13年の開園時の年間入園者数が41万人だったのに対し現在（平成27年度）は84万人と大きく伸び、近年でも微増している。

●住民や利用者との「参画と協働」による公園運営

公園の指定管理者は兵庫県園芸・公園協会であるが、「有馬富士公園運営・計画協議会」を設置して、住民参画型の公園運営を行っている。現在の委員は19名で、うち6名は公募住民。発案者が自らプロジェクトチームを立ち上げて実践してくスタイルとのこと。行政の諮問機関ではなく、要望陳情の場でもないことを確認しながら開催している。場合によっては、学識経験者自らがプログラムの実践をすることもある。

この協議会の下には、必要に応じて「しくみづくり部会」などの「部会」を設けてより具体的プロジェクトに対応している。現在はコーディネーション部会（拡大版）のみを置き、新たな参画や協働の手法の検討、各種プロジェクト（後述「夢プロ」など）の調整・サポートを行っている。



視察（ヒアリング）時の様子

●多彩なプログラムが実現できる場と仕組みづくり

「ありまふじ夢プログラム」（通称：夢プロ）を実施。これは、住民グループなどが公園を舞台に自主企画を行う事業で、協議会が認証して、共催プログラムとして実践するもの。協議会は、園内設備や備品の貸出し、広報、会議室無償貸出しなどのサポートを行っており、企画提案は常時受け付けている。

概ね30団体程が実施中。「里山レンジャー」や「さんだ天文クラブ」「がきっこくらぶ」など、個々の趣味や知見を活かした活動が活発に行われている。

趣味や特技は、自分の持つ情報や知識の提供などの欲求が「公園という場の活用」を通して昇華できるものと考えられる。これらは新たなコミュニティの創出につながる。また、毎年春と秋の2回、夢プロ団体による「ありまふじフェスティバル」が自主的に行われており、活動の発表の機会や、団体間の交流の場となっているようだ。



①



②



③

①協議会の様子。②里山レンジャーの実施。③さんだ天文クラブの実施の様子。※何れもヒアリング時の資料より

■ふるさとの杜再生プロジェクト事務局

●特定非営利活動法人都市デザインワークス
TEL:022-264-2405
mail:info@udworks.net

●仙台市百年の杜推進課
TEL:022-214-8389
mail:ken010241@city.sendai.jp



平成28年度 第四回連絡会を開催しました



12月21日（水）、本年度第四回目の連絡会を開催しました。当日は、育樹会（前号参照）の報告や、今後の海岸公園等での市民植樹や海岸林等の植樹のための準備や体制づくりなどについて協議したほか、今後のプロジェクト全体の進め方のイメージを共有し、特に子どもたちに向けた環境教育の必要性なども再確認しました。

今回も事務局で視察をした有馬富士公園の報告を行い、様々なプログラムを実現出来る場と仕組みづくりを学びました。（こちらも前号参照）

海岸公園の育樹会にご参加いただいた方々の声！ アンケートの一部をご紹介します

感想編

本日の育樹会に参加してみたの感想をお聞かせください。

- 向山小の子どもたちがどんぐりを土に入れるところから苗木が育っている様子を見て、とても感慨深いものがありました。
- 思いのほか生育がよくホッとしています。復興の歩みに多少なりともかかわることができてうれしく思います。
- 苗木が雨風に負けずにすくすくと育ってとても嬉しかったです。2年かけて育てて苗木にしたものが無事な姿を見せてくれて安心しました。これからも杜の都の大きな杜になりますように願いをこめて、見守り、お世話できたらいいな…と思いました。
- 10年後が楽しみです。
- 公園の整備が進められてにぎわいをもどって良いと思いました。

●今日、子供たちの野球場での元気な声を聞いて嬉しく思いました。

●6年たって子どもたちが野球をやっていて元気な姿が見れてうれしい。

アイデア編

こんな企画も一緒に開催しては？などアイデアがございましたらご記入ください。

- 公園で芋煮、スポーツイベント併催等
- 樹以外にもお花や小さな葉など植えて、皆さんの寄りどころになるといいのではと思いました。
- 紅葉がきれいな木を植えていただきたい。
- 地元町内会のイベントと連動させるともう少し参加人数が増えるかも？
- 地元出身のプロ野球選手による野球関連のイベントとか。

▶イグネスクール成果発表会が開催されます！



イグネスクール第1回目の様子

2月19日（日）、せんだい3.11メモリアル交流館を会場に「イグネスクール成果発表会」を開催いたします。

この秋に実施した授業や実践の内容を凝縮した冊子を配布します。これを使って活動をふりかえります。どなたでもご参加いただけますので、是非お運び下さい。お申込み不要ですが、ご参加いただける場合は下記宛にご一報いただければ幸いです。

- 日時：平成29年2月19日（日） 14:00～15:30
 - 場所：せんだい3.11メモリアル交流館1階交流スペース（地下鉄東西線荒井駅内）
 - 参加費：無料
- 【問合せ】都市デザインワークス 担当：岡井
TEL：022-264-2405 mail：okai@udworks.net

■ふるさとの杜再生プロジェクト事務局

●特定非営利活動法人都市デザインワークス
TEL:022-264-2405
mail:info@udworks.net

●仙台市百年の杜推進課
TEL:022-214-8389
mail:ken010241@city.sendai.jp

平成28年度 第五回連絡会を開催しました



2月8日（水）、せんだい3.11メモリアル交流館にて、本年度第五回目の連絡会を開催しました。

今後の市民植樹の開催についてや、海岸林植樹のための準備や体制づくり、会の規約などを協議しました。特に会の規約については最終確認を行い、今後必要な各種手続きを進めることとしました。

また、会の代表として「仙台緑のボランティア団体連絡会」を、副代表を「(公財) 仙台市公園緑地協会」をそれぞれ選出しました。各体制が整い、来年度以降の取り組みにも大いに弾みがついた会議となりました。

トピックス 兵庫県視察報告 その③：県民緑税 (兵庫県)

これまで2回にわたりお伝えしている本プロジェクトの先進地事例視察の報告シリーズの第3回目、今回は兵庫県で導入している「県民緑税」について報告いたします。

●税の導入の経緯

兵庫県では、平成18年度から『県民緑税』を導入し、森林の防災面での機能を高める「災害に強い森づくり」や、環境改善や防災性の向上を目的とした「都市の緑化」を進めている。これは、豊かな緑を次の世代に引き継いでいくため、県民共通の財産である「緑」の保全・再生を社会全体で支え、県民総参加で取り組む仕組みとして提案されたもの。

●いくらくらい、どのように徴収しているか？

個人の年額は800円、法人の場合は資本金の額に応じて2,000円～80,000円までの額で徴収。全体で年間約24億円規模の財源になる。県民税と併せて徴収している。

●「県民緑税」の使い道について

「災害に強い森づくり」と、「都市の緑化」の大きく2つとなっているが、特に「都市の緑化」にも利用できることが他の緑税とは異なる特色である。これは、空き地や広場の緑化や、保育園や学校の校庭等の芝生化、駐車場の芝生化、建築物の屋上や壁面の緑化などを支援するものである。

特に住民団体（自治会、子ども会、地域住民が参加しているNPO団体など）の緑化活動の支援には特に重点を置いている。支援を受ける際には、専門家による講習会の受講を必須にするなど、地域団体の参加を促すためのフォローも行っている。



視察時の様子

▶イグネスクールの成果発表会が開催されました！



イグネスクール成果発表会の様子



2月19日（日）、せんだい3.11メモリアル交流館を会場に「イグネスクール成果発表会」が開催されました。

当日は、地域住民、専門家、行政や興味をお持ちの市民など様々な立場から約30名の参加があり、昔からの「居久根」と、これからの暮らしに寄り添う「みんなの居久根」のあり方について学び、その育て方や楽しみ方も、この秋に実施した授業や実践の内容を盛り込んだ冊子「みんなの居久根 Hand Book」を基に活動をふりかえりつつ、学びました。

【この取組の問合せ先】都市デザインワークス 担当：岡井
TEL：022-264-2405 mail：okai@udworks.net

■ふるさとの杜再生プロジェクト事務局

●特定非営利活動法人都市デザインワークス
TEL:022-264-2405
mail:info@udworks.net

●仙台市百年の杜推進課
TEL:022-214-8389
mail:ken010241@city.sendai.jp

平成28年度 海岸公園（荒浜地区）にて市民植樹を開催しました！！



3月25日（土）、若林区の海岸公園（荒浜地区）にて平成28年度の市民植樹を開催いたしました。

地元小学校や地域の方々、ご協賛いただいた企業の皆様、みどりづくりの支援団体の方々など約230名の参加をいただきました。

天候にも恵まれ、ふるさとの杜の再生を願いながら、オオシマザクラやコナラ、ドウダンツツジなど約1,300本の樹木の植樹とマルチングなどの作業も行いました。これだけの本数も多くの手があれば、あっという間。11時頃から始めた作業も、約1時間で終了しました。

この場所の今後のフォロー作業（育樹会）を夏頃に開催したいと考えております。

※今回は、植樹面積が限られていたため、参加公募は行いませんでした。ご了承下さい。



◀海岸公園に設置された「避難の丘」の見学と避難装備のデモンストレーションも行われました。

平成28年度 第六回連絡会を開催しました



3月1日（水）、せんだい3.11メモリアル交流館にて、本年度第六回目となる連絡会を開催しました。会議の前に、市民植樹予定地の現場視察を行い、会議内で確認事項等の洗い出し作業も行いました。会議では、市民植樹の開催の確認や、プロジェクトの今後の進め方も議論しました。

また、プロジェクトの発信媒体として、Facebookページの開設を決定いたしました。是非フォローして最新情報を！



仙台ふるさとの杜再生プロジェクト
SendaiUrbanForest



■ふるさとの杜再生プロジェクト事務局

●特定非営利活動法人都市デザインワークス
TEL:022-264-2405
mail:info@udworks.net

●仙台市百年の杜推進課
TEL:022-214-8389
mail:ken010241@city.sendai.jp